

大学入試のあり方に関する検討会議 (第9回)

2020年6月16日(火)



駿台教育研究所
SUNDAI EDUCATIONAL INSTITUTE

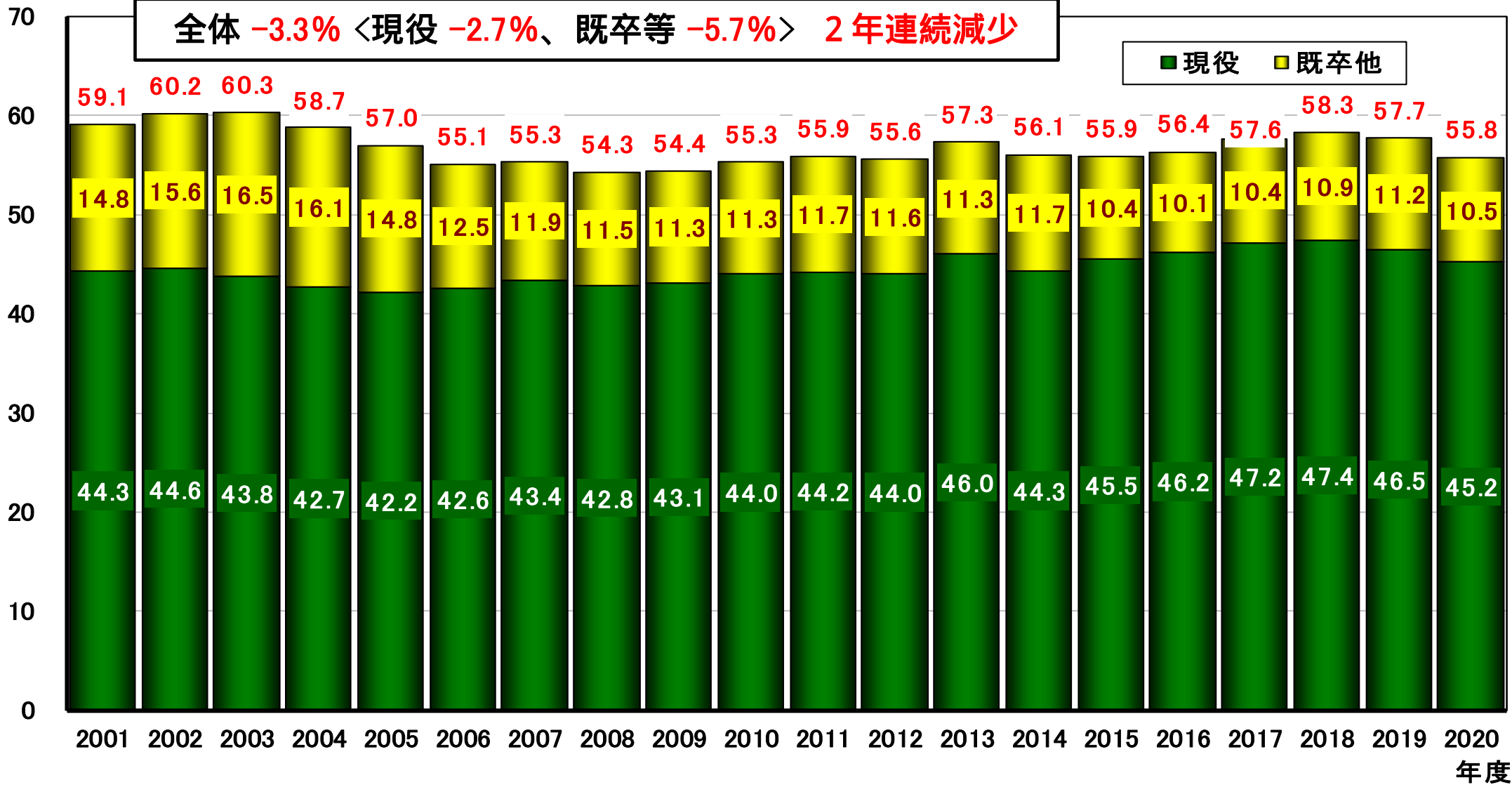
駿台予備学校

1918年創設。現在、創立102年の現存する予備学校では、最も歴史のある学校。毎年、東大、京大、医学部、早慶大等の難関大に多数の合格者を輩出

駿台教育研究所

学校法人駿河台学園の独立した研究機関として1992年に設立。2017年4月より株式会社として、教育環境や入試制度が激変してゆく中で、学生・生徒、教員の皆様のニーズを把握し、新しい教授法の研究やデータ作成・分析等を専属かつ組織的に推進

確定志願者数推移(2001～2020年度)



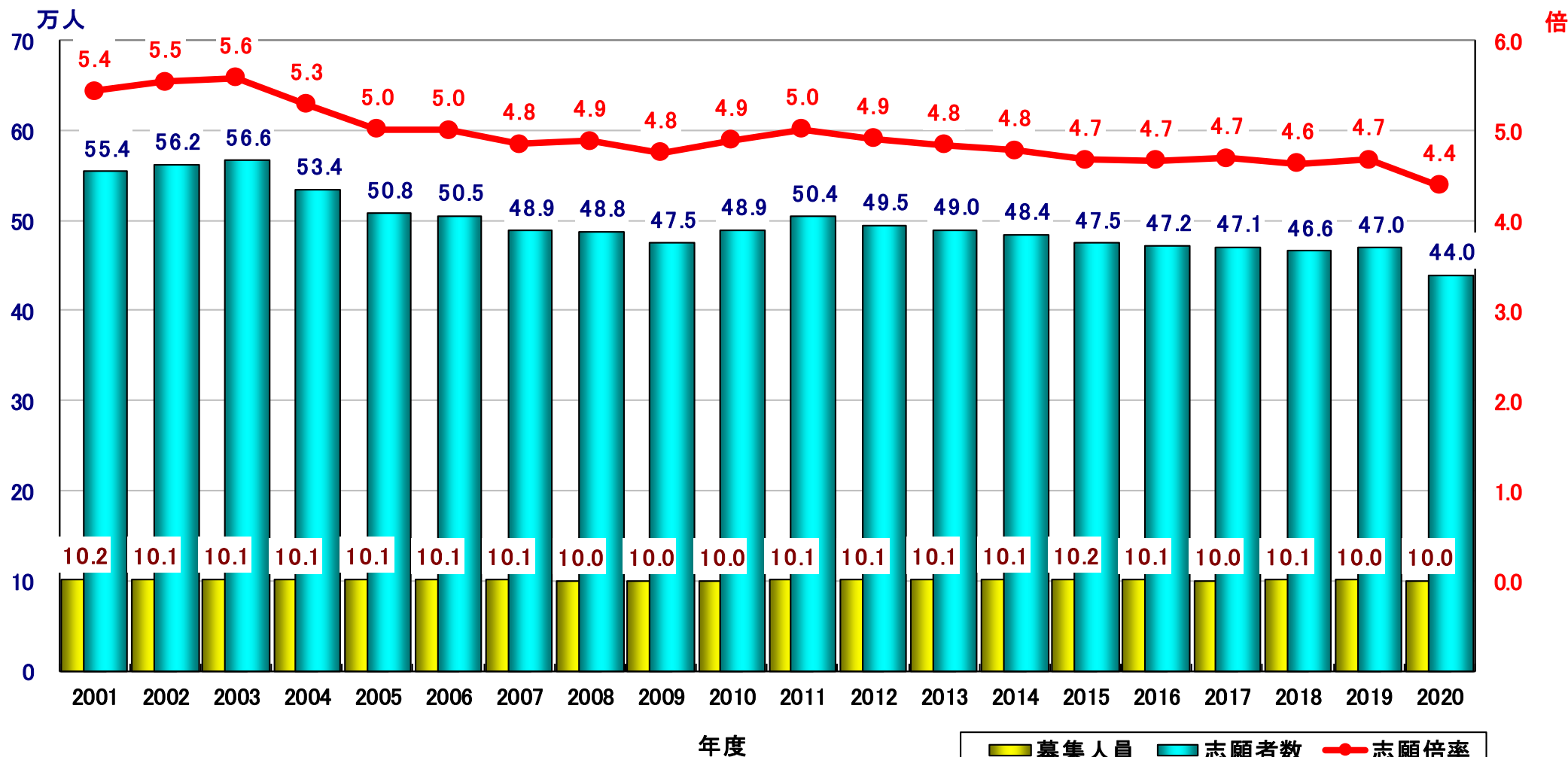
確定志願者数: 557,699人(-19,131人) <現役: 452,235人(-12,715人)、既卒等: 105,464人(-6,416人)>

●現役占有率: 81.1%(+0.5ポイント)

●現役志願率: 43.3%(-0.7ポイント)

●センター試験参加4年制大学: 国立 82大学、公立 91大学、私立 533大学、計706大学 (他に短大152大学)₃

※大学入試センター発表最終確定値

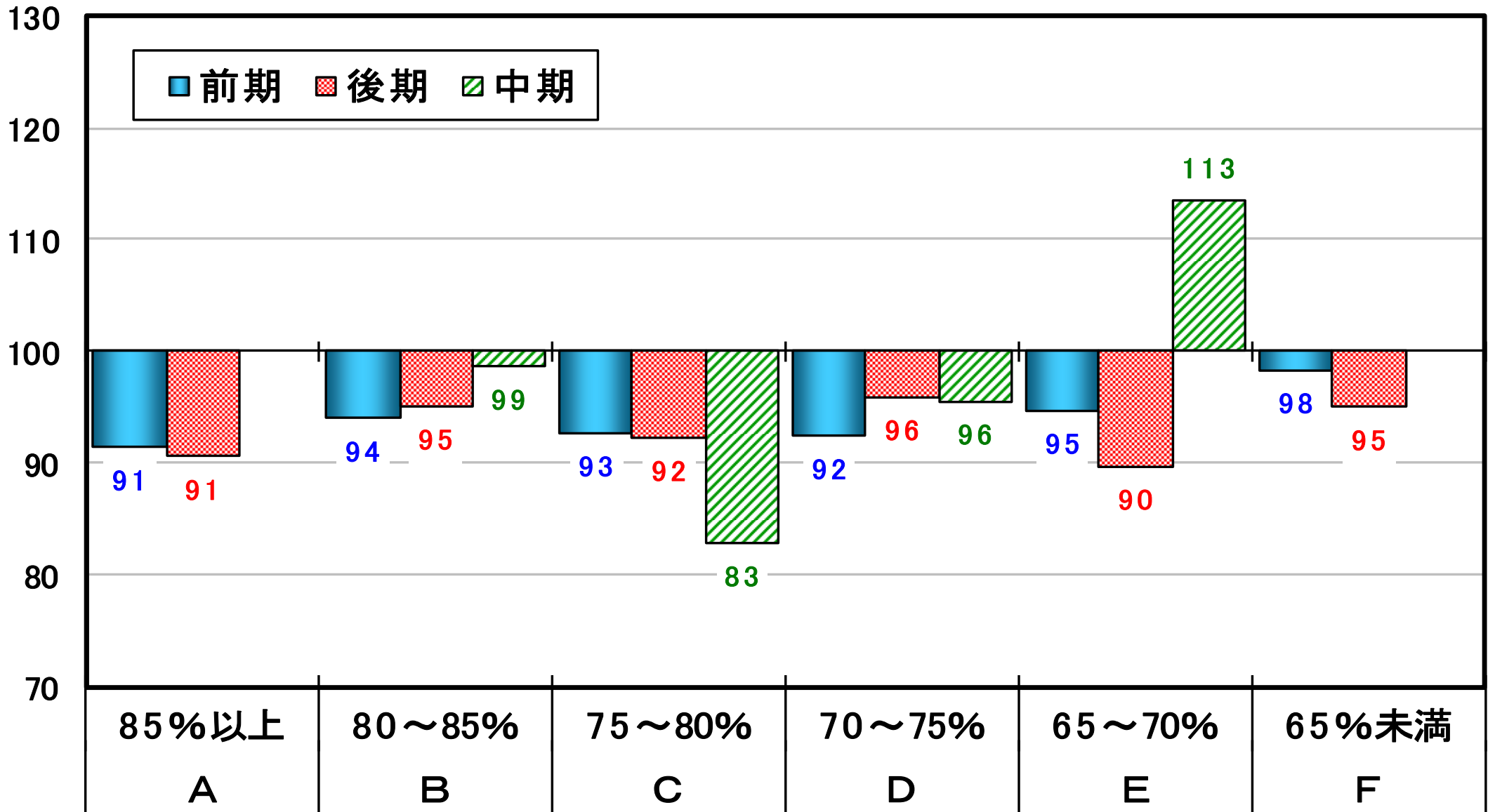


■確定志願者数 439,565人〔前年度469,836人〕 -30,271人(前年度対比指数94) **2年ぶりに減少**

■志願倍率 4.39倍〔前年度4.68倍〕 **0.29ポイントダウン**

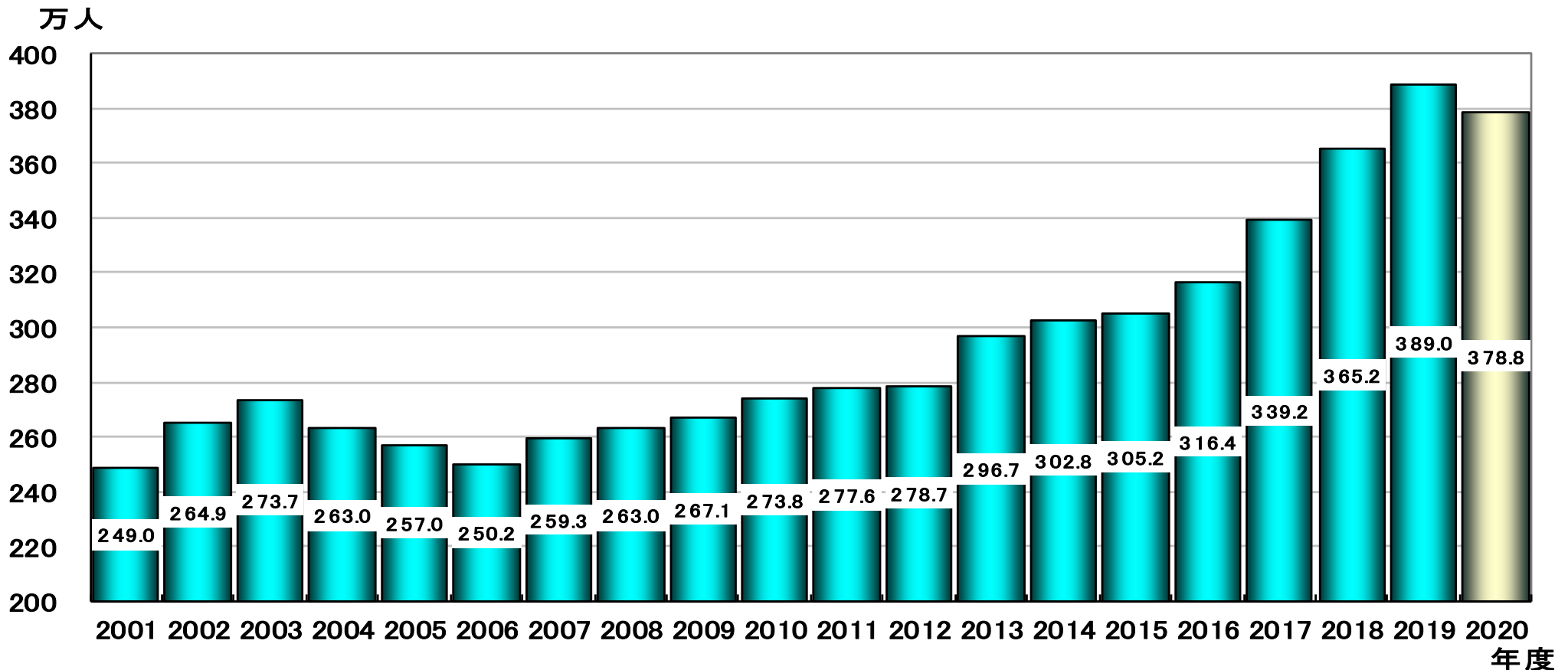
■減少要因 ①当初予定されていた大きな入試改革への不安による国公立大学敬遠
②センター試験の予想平均点ダウン

※文部科学省発表最終確定値(独自日程で入試を実施した大学は集計に含まない)



※文部科学省発表最終確定値、前年度を100とする指数

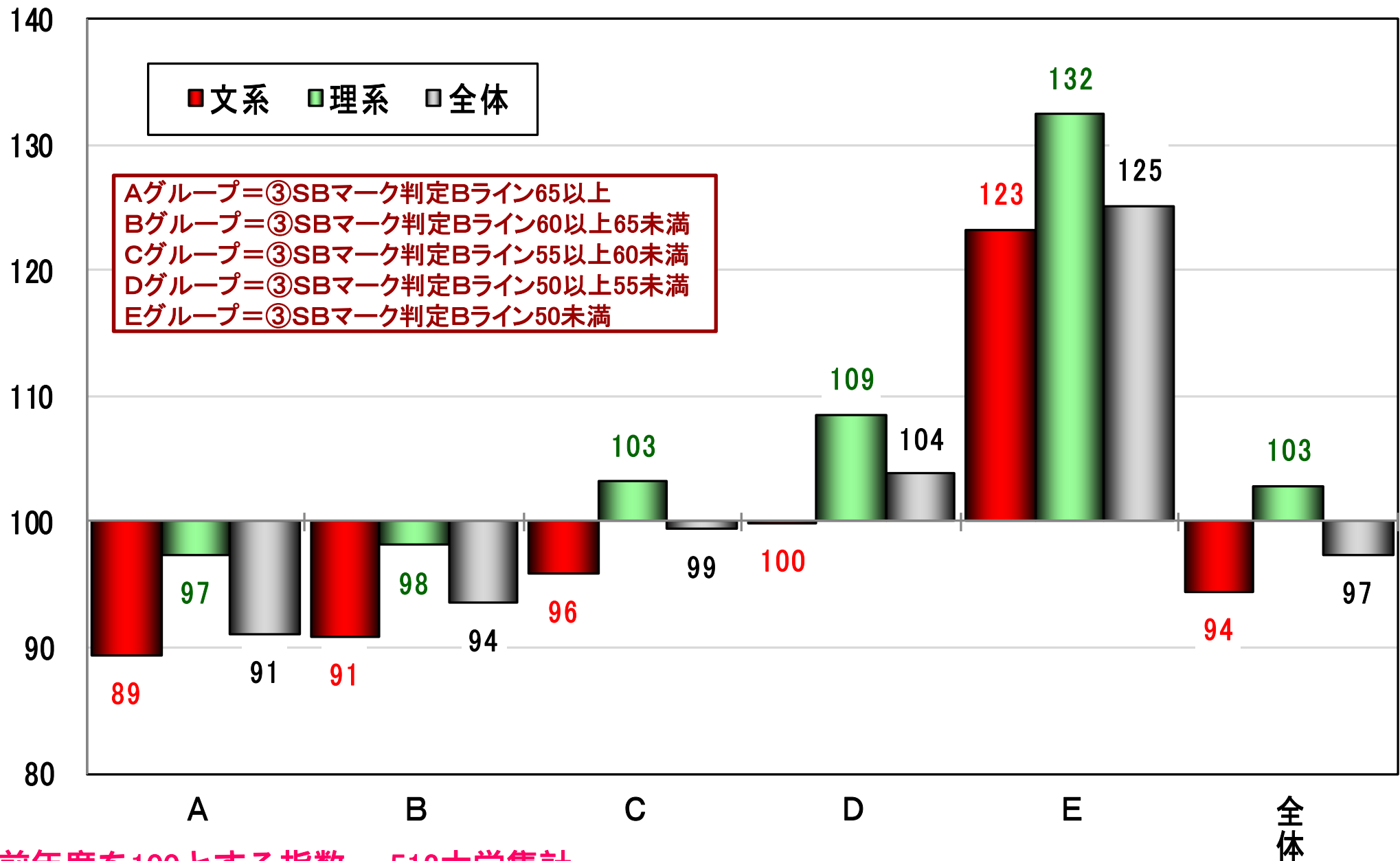
駿台・ベネッセ主催センター試験自己採点集計「データネット」におけるB判定ラインをもとに分類



■ 2020年度確定志願者数(512大学集計値による予測)

約378万人(対前年度指数97) **14年ぶりの減少**

- 減少要因
- ①前年度入試における弱気な出願の結果、既卒受験生が減少
 - ②当初予定されていた大きな入試改革への不安による一般選抜敬遠
 - ③前年度激戦の結果、センター試験利用方式への敬遠
 - ④センター試験の平均点ダウンによる事後出願可能大学の志願者数減少



※前年度を100とする指数、512大学集計。

2019年度第3回駿台・ベネッセマーク模試(11月実施) B判定ラインにより分類

■ 当初、予定されていた大規模な入試改革への不安

- 一般選抜を敬遠し、特別選抜(AO入試・推薦入試)志向の高まり
- 首都圏、関西圏における国公立大への敬遠と私立大志向
最難関大を除き、全国的な難関大敬遠傾向、中堅大への志願者殺到、地元志向

■ 前年度入試動向の反動及び社会情勢の変化

- 私立大学センター利用入試の難化への反動による志願者数激減
- 文系人気ダウン、理工系人気アップ、メディカル系人気低迷
- 医学部医学科の入学定員増加で既卒受験生が減少

■ センター試験の平均点ダウン(国語、数学、英語)

- 国立超難関大を除いて、弱気な出願傾向がさらに促進
- 準難関大の志願者数減少が顕著



- 国公立大・・・首都圏、関西圏の準難関大が易化
医学部医学科は競争が大幅緩和し、易化傾向
- 私立大・・・GMARCH、日東駒専、関関同立、産近甲龍といった
首都圏(特に東京)、関西圏の難関大が易化
一方で、中堅大や地方大が倍率アップで激戦に

尋常でない「安全志向」は人材育成にはマイナスではないか？⁸

8 超弱気な志願状況はなぜ起きたか？

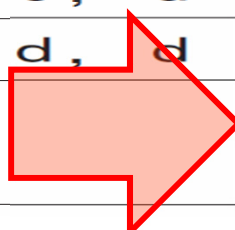
- 負担増（民間の英語4技能資格・検定試験、共通テスト（国語、数学）の記述式問題）への敬遠ではない
→「決まらないこと」への不安から
- 共通テスト（国語、数学）の記述式問題
 - 大学ごとの具体的な利用方法
 - 段階評価の得点換算
 - 採点基準の詳細（試行調査と採点方法が変わった）
- 英語4技能資格・検定試験
 - 自分が希望する実施日で受験できるのか？
 - 試験会場はどこになるのか？

総合段階

- 「総合段階」はA・B・C・D・Eの5段階で表される。
- 設問ごとの「段階」を下記の表に当てはめ、「総合段階」を判断。
- 問1と問2の結果を縦軸にとり、問3の結果を横軸にとる。
- それぞれの結果が重なった部分に記載されているアルファベットが総合段階になる。

問1, 問2 (順不同)	a, a	C	B		
	a, b			B	A
	a, c				
	b, b	D	C		
	a, d				
	b, c			C	B
	b, d				
	c, c	E	D		
	c, d			D	C
	d, d				
		d	c	b	a
		問3			

問1・問2の
1.5倍のウェイト





¥1,080(税別)



¥1,050(税別)

【小問の成績】 2017年度・2018年度の2回の施行調査のやり方を変更

a: 複数の正答の条件を**全て満たしており、全体として十分な解答**

a*: aのうち、**解答の書き表し方について「マイナス評価」が1つ以上ある解答**

b: 複数の正答の条件のうち、**内容に関する条件の一部しか満たしておらず、全体として不十分な解答**

b*: bのうち、**解答の書き表し方について「マイナス評価」が1つ以上ある解答**

c: **上記以外の解答**

解答の書き表し方

字数の上限など、解答するに当たっての書き表し方に関するきまりに従っていない解答を「マイナス評価」とする。

【大問の成績】

5段階で表示

小問1・小問2	a	a				段階A	小問1、2ともに 完全な正答	
	a	a*						
	a*	a*						
小問1・小問2	a	b				段階C	小問1、2いずれか 完全な正答	
	a	b*						
	a*	b						
小問1・小問2	a*	b*				段階B	小問1、2いずれか 完全な正答	
	a	c						
	a*	c						
順不同	b	b				段階E	小問1、2ともに 完全な正答なし	
	b	b*						
	b*	b*						
順不同	b	c				段階D	小問1、2ともに 完全な正答なし	
	b*	c						
	c	c						
		c	b*	b	a*	a		
		小問3 (解答する字数が最も長い問題)						
		小問3 不正解		小問3 不十分な正解		小問3 完全な正答		

2017年度・2018年度の
2回の施行調査の
やり方を変更

13 民間事業者の動き<英検>新しい英検<当初案>

項目		英検新方式		
		CBT方式		英検 <small>2020 2 days</small> S-Interview
対象受験者		制限なし	高校3年生 (既卒生含む)	
実施方式	RL	CBT	PBT/CBT (2019) ※2	PBT
	W	CBT	PBT	PBT
	S	吹き込み	吹き込み	対面式
日程・実施回数		常時実施※3 4-12月に「成績提供システム」に提出できる受験回は2回まで		6-7月、10-11月 年間2回※4
受験日数		1日	1日	2日
会場		テストセンター		公開会場 (約400か所)
会場数		47都道府県に配置※3 各都道府県に1か所以上		47都道府県に配置
対象級 (CEFR段階)		準1級～3級の4グレード A1～B2※5	準1級～3級の4グレード A1～B2	1級～3級の5グレード A1～C1
検定料 (税込)	1級	—	—	16,500円
	準1級	9,800円※5	9,800円	9,800円
	2級	7,500円	7,500円	7,500円
	準2級	6,900円	6,900円	6,900円
	3級	5,800円	5,800円	5,800円

14 民間事業者の動き<英検>S-CBT受付日程<当初案>



	2020年度 第1回検定	2020年度 第2回検定
予約申込受付開始	2019年9月18日(水) 16:30~ 予約申込は先着順ではありません	2020年1月15日(水) 16:30~ 予約申込は先着順ではありません
予約申込受付締切	2019年11月11日(月) 17:00	2020年1月27日(月) 17:00
返金申込受付期間	2019年11月5日(火) 16:30~11日(月) 17:00	
本申込受付開始	2020年2月9日(日) 9:00より順次受付開始 アクセスの集中を避けるため、予約申込数に応じて全国を10エリアに分割し、 順次申込を受け付ける予定です。	2020年6月20日(土) 9:00より順次受付開始 アクセスの集中を避けるため、予約申込数に応じて全国を10エリアに分割し、 順次申込を受け付ける予定です。
本申込受付締切	2020年2月25日(火) 17:00	2020年7月6日(月) 17:00
試験日程	2020年4月~7月のいずれか	2020年8月~11月のいずれか ※11月については大学入試英語成績提供システムへの成績提供スケジュール を考慮し11月8日実施までとする

■ 2020年度英語認定試験用のGTECの実施について

①6月14日(日) ②7月19日(日)

③10月4日(日) ④11月1日(日)

※試験は午後から開始。

※試験会場は受検地単位で申込を行う。

※具体的な会場名は受検票で告知(試験日2週間前まで)。

※対象者は実施年度の高3生、既卒生のみ。

※受験者多数の場合には、受験日・受検地の変更を行う。

■ 申込方法および特記事項

□ 申込期間 ①、②=2020年3月11日(水)~3月25日(水)

③、④=2020年7月10日(金)~8月4日(火)

□ 申込方法 共通IDを必須入力とし、専用WEBサイトから行う。(現卒同じ)

□ 受験回数は①、②から1回、③、④から1回の合計2回まで。

□ 受験料は6,820円(消費税10%含)〈経済的困窮者 5,460円〉。

□ スピーキング試験ではタブレット端末、遮音用イヤーマフを使用。

□ 受験者にはオフィシャルスコア証明書を返送。

□ 従来からの「GTEC」(アセスメント型、検定型)は共通テスト用には使えない。

- 私立大では、従来型英検，従来型GTECにおける高校内実施での成績でも、一定の条件下で出願時の成績として認めている場合が多い
 - 難関大でも不正行為等のトラブルは聞いたことがない。
 - 会場確保の問題はほぼ解決（都市部も地方も）
 - ただし、高校内実施は高校教員の「働き方改革」には逆行する
- 私立大の多くは高2で取得した成績を採用している
 - 受験者を2年間に分散させることで、会場確保が楽になる
 - 高2→高3、高3→1浪のように2年間成績を有効にする
 - 例えば、CEFR B2レベル以上ならば、高1までの取得でも認める

英語力をレベルアップさせるために、英語4技能評価を導入したのに、変な制限をなぜ導入したのか？むしろ、経済的に厳しいご家庭の生徒への経済支援こそが必要。

2 以下の英語外部試験の基準を満たした方のみを対象にした入試方式です

「初等教育学専修」の入学者選抜は行いません。

英語外部試験の基準(CEFR B1レベル以上)

Cambridge English B1 Preliminary以上	実用英語技能検定 2級以上	GTEC(4技能) 960点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)
IELTS 4.0以上(アカデミック・モジュールに限る)	TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) 225点以上	TEAP CBT(4技能) 420点以上
TOEFL iBT® 42点以上	TOEIC® Tests 790点以上(L&R 550点以上, S&W 240点以上)	

上記英語外部試験のスコアについては、2018年1月以降に受験したものを有効とします。

4技能試験を分けて受験可能なもの(TOEIC® Tests)は、すべての試験を2018年1月以降に受験した場合のみ有効とします。

4技能について、それぞれ評価される(スコアが出る)試験を複数回受験した場合であっても、4技能それぞれの得点を組み合わせて使用することはできません。

実用英語技能検定CBTも対象となります。

TOEFL iBT®テストおよびTOEIC® L&R/S&W iBTテストのスコアは対象なりません。






試験日	2月1日・4日
-----	---------

教科	科目	配点	時間
国語	国語総合、現代文B、古典B (いずれも漢文を除く)	150	13:00~14:15(75分)
地歴、公民 または数学*	世界史B、日本史B、地理B、政治・経済、 数学(数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル))のうちから1科目選択	100	15:00~16:00(60分)
合計		250	

※「地歴、公民または数学」の選択科目名は出願の際に届け出てください。なお、届け出後の変更は認めません。

同一日に実施する文学部の3教科型と併願ができます。

- 実用英語技能検定2級以上 GTEC(4技能)960点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)
- 上記英語外部試験のスコアについては、2018年1月以降に受験したものを有効とします。

	「GTEC」アセスメント版	「GTEC」検定版	「GTEC」CBTタイプ
実施会場	学校会場	学校会場	公開会場
監督	実施校の先生方による監督	弊社の検定用マニュアルに沿った形で 実施校の先生方による監督	弊社にて会場責任者と 試験監督者を派遣
受検者 向け 返却物	 <p>生徒用帳票 (SCORE REPORT)</p>	 <p>オフィシャルスコア証明書 (OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)</p> <p>生徒用帳票 (SCORE REPORT)</p>	 <p>オフィシャルスコア証明書 (OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)</p>
先生 向け 返却物	 <p>教師用帳票</p>	 <p>教師用帳票</p>	

※帳票のデザインは、イメージです。

■ 評価基準がよくわからない

- 完璧な文法や構文には非の打ちどころはないが、いわゆる日本人的な発音(“Janglish”)
- 発音、アクセント、イントネーションには非の打ちどころはないが、文法や構文はかなり怪しい

はたして、どちらが高得点を獲得できるのだろうか？

■ 受験生の学習(練習)環境

- 自分のSpeakingのレベルを把握する機会や場所が少ない(ない)
- 本来は個別指導(グループ指導)を受けないとレベルアップしないのではないか

バイリンガル・インストラクターによるSpeaking Training

バイリンガル・インストラクターとは…

英語上級者のみならず初級者からも好評で、満足度高い

長い海外経験を背景に高度な英語コミュニケーション力を持ち、選考、指導研修を経たインストラクターがSpeaking Trainingを担当します。

Speaking Trainingでできること

- 英語4技能資格・検定試験のSpeaking対策、発音・アクセントの矯正
- 時事的なテーマのディスカッションを通じ、「英語で発信する力」を強化

① 受付窓口で予約

② 受講目的を確認
レベルチェック

③ Speakingの練習や
ディスカッション、
発音・音読の矯正練習

④ 上達のための
アドバイス・
課題の提示

※1枠15分。1日に連続2コマまで予約可能です（実施校舎により異なります）。

※スケジュールは実施校舎にご確認ください。



受講生の英語力や目的に合わせ、指導を行います。

■ 英語4技能資格・検定試験

- 受験を希望する受験生すべてが、希望通り受験できるようなシステム構築→私立大の導入例に倣う
- 「得意な生徒」にプラスアルファの考えを！（英語に限らず）

■ 記述式問題

- 国公立大＝「個別試験」で対応
（大学入試センターの個別試験問題の提供）
- 私立大＝最終的には各大学のアドミッションポリシーの問題

■ 10万人いる既卒受験生への配慮

- 最低限「2年前告知の厳守」（既卒生のみならず、現役生にとっても本当はもっと早くからの告知が望ましい）
- 既卒生の事務手続きの周知徹底（見切り発車だった英検S-CBTの予約申込への対応）
- 「再チャレンジ可能な社会の構築」